特集

農業で、未来を『つくる』

農業は、これまで家庭や地域で引き継がれてきましたが、現在、たくさんの問題を抱えています。

特に深刻なのは、農業を担う人が不足し、農地を保全管理することが難しくなっていることです。農業を支えていく「人」の育成について、真剣に考える時がきています。

体験して学ぶ、農業体験会 初開催

農業委員会では、農業に対する理解を深め、未来の農業へ繋げていくために「こども野菜づくり体験会」を昨年初めて企画・開催しました。野菜が育つ過程の学習や種まき、収穫の作業を行う体験会です。

「こども野菜づくり体験会」には、17人の親子が参加し、9月に大根の種まき、11月に収穫を行いました。

大根の種まきでは、はじめのうちは土で手を汚すのをためらっていた子どもたち。種を一粒一粒大切にまき、土に慣れてくると、泥んこ遊びを始める子もいました。収穫では、大きく育った大根を「よいっしょ！よいっしょ！」の掛け声で、力いっぱい畑から引き抜き、満面の笑みを見せてくれました。

収穫後は、大根料理を試食し「大根美味しいね、家でも作ろうね」と親子で盛り上がっていました。普段、畑の土に触れることが少ない子どもたちにとって、自然と触れ合える貴重な体験となりました。

令和5年度も「こども野菜づくり体験会」を予定しています。お楽しみに！

農業委員会は、法律により市町村ごとに置かれている行政委員会です。農地法による売買・賃借の許可、農地転用案件への意見、遊休農地の調査・指導など農地に関する業務を行っています。

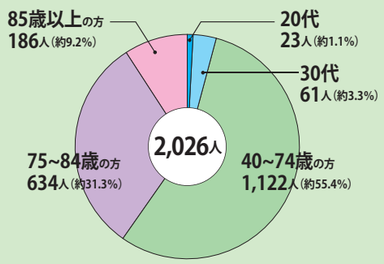
農業を取り巻く問題

市内の農業従事者の「高齢化」「後継者不足」の加速化

令和2(2020)年に実施された「農林業センサス」の調査結果によると、上田市における基幹的農業従事者の数は2026人、そのうち20・30代の若年層は、全体の5％未満。高齢化や後継者不足が顕著です。

※基幹的農業従事者とは、ふだんの仕事として、主に自営農業に従事している者

■上田市の基幹的農業従事者数



20・30代を合わせても全体の5％未満

「不在地主」「所有者不明農地」の存在

相続人が地元に住んでいない、所有者が不明などの農地が増えています。定期的に農地管理をしないと荒廃農地の発生原因となり、付近には、さまざまな悪影響を及ぼします。

悪影響の主なもの

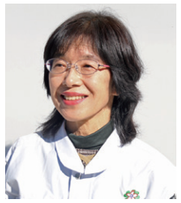
問 農業委員会事務局 ☎23・5466

参加者の声

- 野菜がどのように育つか分かり、食べ物を大切にするなど、考え方が変わったと思います。
- 大根は畝(うね)を使って作ることを初めて知りました。種まきがとても楽しかったです。
- 土作りからとても勉強になりました。子どもは、土の手触りを楽しみながら種まきをしていました。毎年やってほしいです。
- 種まき後も草取りや害虫駆除など手間暇かけて立派な大根ができる過程を身近に知ることができてよかった。
- 大根がなかなか抜けなくて、でも頑張ったら抜けたのでうれしかったです。
- 野菜を大事に食べていきたいと思います。

農業に興味を

「こども野菜づくり体験会」を企画した農業委員会の方にインタビュー



山嵜(やまざき) 修子(しゅうこ)さん
(農業委員会 女性部長)

若い世代や子どもたちが〝農業をやってみよう〟という気持ちになるよう、体験会を企画しました。参加した親子は、学習会から真剣に取り組み、畑での作業もうまくできました。

野菜が大きくなる楽しみ、収穫できる喜びを感じられたと思います。親子で一緒に野菜づくりを行うことで食べ物の大切さを知っていただき、農業に興味を持ってくれたら嬉しいです。

使われなくなった荒地を有効活用

今回の体験会は、使われなくなった荒地を畑として再生し会場として活用しました。

〈キリトリ線〉

アンケートに答えて、地元でとれた農産物をゲットしよう！

裏面のアンケートに記入し、切り取って市内の直売所にある専用ボックスに投函してください。

抽選で10名の方に地元で収穫された農産物の詰め合わせ(2,000円相当)をプレゼントします。

- アンケート募集期間 3月20日(月)～4月30日(日)
- アンケート回収場所

①うえだ食彩館ゆとりの里
②マルシェ国分(A・コープ ファーマーズうえだ店)
③生産者直売所 いずみの里
④室賀温泉ささらの湯 農産物直売所
⑤上田 道と川の駅 おとぎの里
⑥愛菜館(A・コープ コアしおだ店内)
⑦塩田東山観光農園
⑧農産物直売加工センター あさつゆ
⑨新鮮市真田

直売所の詳細
市ホームページ

農業体験を取り入れています

市と農業者、ＪＡ信州うえだ、上田商工会議所などの関係団体が連携して上田地産地消推進会議を組織し、市内の公立保育園・小学校で農業体験を通して農産物について学ぶための取り組みを進めています。

問　農産物マーケティング推進室　☎21・0053

神科第二保育園　給食、苗植えの様子

玉ねぎは学校給食としてハンバーグのソースとサラダのドレッシング、みそ汁の具に使われました

神川保育園　給食、料理、収穫の様子

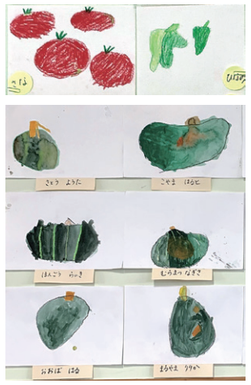
苗植えから園児の手で

市は「第二次上田市食育推進計画」に基づき、さまざまな食育活動に取り組み、特に給食を通した食育に力を入れています。上田地産地消推進会議では今年度から公立保育園へ野菜苗を提供し、園児が自分で育てた野菜を給食で食べる企画をはじめました。

神科第二保育園の園児たちは、小さな手で苗を植え、倒れないように土をやさしく盛って、最後に「大きくな～れ、おいしくな～れ」と声をかけながら、たっぷりの水をかけ成長を願っていました。

神川保育園の園児たちは、育てたピーマン、じゃがいも、玉ねぎを使って、カレーやおでんを作り「いつものカレーより、おいしいね」「今度は、違う野菜も育ててみたいな」「この大根、僕が掘ったんだよ！」と話しながら、自分たちでとった野菜を笑顔でおいしくいただきました。

このほかの園でも、ミニトマトやきゅうり、さつまいも、玉ねぎ、大根などさまざまな野菜を育てました。



神川保育園の園児たちが収穫した野菜を描きました（トマト、ピーマン、かぼちゃ）

地元農産物を給食に

上田地産地消推進会議の学校給食部会では、学校給食での地元農産物の使用を推進しています。令和元年度の学校給食では青果物・米飯の総使用量の約40％の地元農産物が使用されました。中でも、玉ねぎは学校給食での使用量が多い野菜のひとつで、令和3年度には約14トンが地元産のものでした。

また、東塩田小学校では、生産者の清水さんのご協力のもと、玉ねぎの収穫と乾燥作業の体験を行い、自分たちで収穫した玉ねぎを使用した給食を食べました。この玉ねぎは、市内の学校給食にも提供されました。

体験を通して食べ物を大切にしてほしい

東塩田小学校の収穫体験でご協力いただいている
清水（しみず） 宏之助（こうのすけ）さん

子どもたちの熱心に、まじめに、取り組む姿勢が素晴らしかったです。勉強も大事だけど、体験することも大事なこと。体験を通じて、食べ物の大切さや、ありがたさを感じてほしいです。

地域計画の策定を行います

国では、農業問題の解決に向けて、市町村ごとに「地域計画」を作成することとしています。「地域計画」とは、誰がどのように農地を使って農業を行っていくのか、まとめていく計画のことで、“地域の農業・農地利用の未来設計図”と言うべきものです。

今後、地域ごとに農業関係者が集まり、農業の将来を見据えながら、話し合いを行う機会を設ける予定です。ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。

問　農政課　☎23・5122
　　農業委員会事務局　☎23・5466

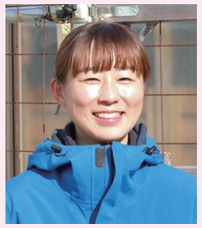
農地についての相談先

〈相談の一例〉

- 今まで耕作していたけれどできなくなった
- 農地を相続したが、耕作できない
- 畑をもっていないが、耕作したい

農地に関する相談を受け付けています。
農地を”貸したい””借りたい”方は農政課（☎23・5122）または農業委員会事務局（☎23・5466）までご連絡ください。

農業って楽しい！



直井（なおい） 優希（ゆうき）さん

保育士として仕事をしながら、祖父母の野菜作りのお手伝いをしている直井さんにお話を聞きました。

小学生の頃、稲のはぜ掛けをした体験や家の畑の手伝いをしたことをよく覚えています。畑でいろいろな生き物に触れることが楽しく、私にとって畑はとても居心地がいい場所でした。

現在、子どもと関わる仕事をしているので、食べ物の大切さを考えるようになり、有機農業にも関心を持ち始め、農家へ研修に行ったこともありました。

祖父母の畑仕事を手伝い「ありがとう」「助かったよ」と声をかけてもらうとうれしくなります。

多くの人と一緒に野菜作り体験をしたり、生き物に触れたり、収穫する喜びをみんなで味わえたらうれしいです。これからも祖父母の畑を大事にしながら、私にできることをやっていきたいです。

畑の一角で育てているやぎの“かよちゃん”けやきの葉っぱ、えん麦、りんご、ニンジンが好物！

一人ひとりが農業について考えることが大切

毎日当たり前に食べている農産物に関心を持ち、地元の農産物を食べたり、お家で野菜づくりをプランターで行うなど、できることからチャレンジしてみませんか。

お家でできるプランター栽培の一例　いちご

地元農産物のプレゼント企画にぜひ、ご応募ください（3～4ページ）。

該当する番号に☑をしてください。

1.直売所の利用頻度は？
□月２回　□月１回　□週３～４回
□週１回　□その他（　　回）

2.直売所を利用する理由は？（複数回答可）
□近所にあるから　□安いから　□新鮮だから
□その他（　　）

3.農産物を選ぶ基準は？
□鮮度　□価格　□その他（　　）

4.直売所に何を求めますか？
自由記載（　　）

〈キリトリ線〉

郵便番号　〒　　―
住所
氏名

※当選者の発表は、農産物の詰め合わせの発送をもって代えさせていただきます。